

令和 7 年度 事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 31 日

公益財団法人 大阪府国際交流財団

当財団は、大阪の国際競争力の強化を図り、大阪の国際化に寄与するため、「外国人の受入促進・活動環境整備」、「国際交流情報の収集及び発信」、「グローバル人材の育成・活用」に取り組んでおります。

令和7年度は、「OFIX中期経営計画(令和5年度～令和9年度)」の3年目にあたり、日本・大阪を取り巻く社会経済情勢の変化やこれまでの取組みを踏まえつつ、重点事業として掲げた「相談機能の専門性向上」、「災害時における迅速な情報発信の強化」、「万博関連事業の取組み」に取り組んでまいりました。

事業実施においては、中期経営計画に示している具体的取組事項や各種成果指標の達成につなげるため、増加する在住外国人に向けて協働して多面的な支援ができるように、社会福祉協議会と連携した取組みの継続や、国や関係機関だけでなく民間企業等と連携した具体的な対策にも取り組みました。

また、大阪・関西万博の閉幕後も、国際都市大阪で多文化共生社会の実現に寄与するために、広域ネットワークを活かすとともに、関係機関や外国人から一層信頼される組織・体制づくりを進めました。

財政状況については、長期金利が上昇し債券の時価が下落するなか、安全性に配慮しながら好条件の債券への入れ替えを実施するなど財源の確保に努めました。事業収支については、物価高騰の折、引き続き事業の選択と集中を進めるとともに、機器のダウンサイジングを図るなど管理費の縮減を徹底するなど、経営の健全化への取組みを進めました。

I. 事業の実施

令和7年度事業計画に基づき、以下の事業を実施しました。

1	外国人の受入促進・活動環境の整備	4
(1)	大阪府外国人情報コーナーの運営	4
(2)	OFIXボランティア登録制度の運営	10
(3)	多言語情報提供の支援	11
(4)	やさしい日本語の普及	12
(5)	災害時外国人支援体制の確立	12
(6)	大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営・活用	13
(7)	外国人相談対応力強化事業	14
2	国際交流情報の収集及び発信	16
(1)	OFIXホームページ・SNSの運営	16
(2)	OFIXニュースの発行	17

(3) 民間国際交流団体等の活動促進	18
--------------------------	----

3 グローバル人材の育成・活用	19
-----------------	----

(1) 国際理解教育の展開	19
---------------------	----

Ⅱ. 財務基盤の強化

1. 事業の効率的な実施

資産の運用については、資産管理運用規程及び令和7年度の資産運用方針に則り、基本財産を棄損することがないよう安全性に配慮しつつ効率的な運用に努めるとともに、管理コストの縮減など、効果的・効率的な事業運営に努めました。

2. 賛助会費の確保

財団事業への参画と協力を得るため、賛助会員の募集を行い、会費の確保を図りました。

〔令和7年度実績〕

財団賛助会員 []内は前年比増減		
法人会員（1口 5万円）	25 社[▲1 社]	55 口[▲3 口]
個人会員（1口 3千円）	14 名[▲5 名]	15 口[▲5 口]

・寄付金… 110,000円(2団体) [▲10,000円]

Ⅲ. 事業報告

1. 外国人の受入促進・活動環境の整備

(1) 大阪府外国人情報コーナーの運営

① 外国人ワンストップ総合相談窓口（専門相談窓口）の運営

府内外国人が生活・就労等に関する適切な情報に速やかに到達できるよう、大阪府の補助金を受けて、情報提供・相談対応を行う一元相談窓口「大阪府外国人情報コーナー」を電話又は面談等により運営した。

大阪在住外国人が増加し続けていることもあり、労働関係や医療関係、住宅関係、在留資格など、多様化、複雑化、深刻化した相談が多く寄せられた。

令和6年度に試行したLINE電話での相談受付を恒常化するとともに、専門相談としては、弁護士、行政書士、大阪出入国在留管理局職員、大阪府労働環境課職員、臨床心理士と直接相談できる機会を増やした。

対応言語	日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、 (ウクライナ避難民支援のため、ウクライナ語、ロシア語にも対応した)
対応時間	月曜日から金曜日 9時30分から17時30分まで 第3木曜日・第4金曜日 9時30分から20時00分まで 第3日曜日 9時30分から17時30分まで
相談件数	2,594件 (相談者数 2,501名) <専門相談関係> ※人数は内数 年度当初に計画していたもの ・弁護士による専門相談開催数……12回(40名) ・行政書士による専門相談開催数……7回(16名) ・大阪出入国在留管理局との共催による専門相談開催数……12回(45名) ・大阪府労働環境課との共催による専門相談開催数……20回(30名) ・臨床心理士による専門相談開催数……5回(10名) 年度途中で追加開催を決めたもの ・大阪出入国在留管理局による専門相談開催数……16回(22名) ・大阪府労働環境課との共催による専門相談開催数……45回(51名)

② 府内の市町村や国際化協会等との連携による地域相談会などの実施

(ア) 外国人住民向け地域合同一日相談会(「外国人住民向け一日相談会共同事業実施要綱」によるもの)

府内市町村における外国人相談窓口の設置を支援するため、大阪府内の自治体や国際交流協会等が実施する相談会を共催し、行政書士や弁護士などの専門相談員やボランティア通訳者等を派遣した。

(a) 「外国人のための相談サービス」

実施日：令和7年7月24日(木) 午後1時～午後4時

場 所：ジャッピーハウス（らいふらいんぷらざ1階）
共 催：泉佐野地球交流協会（ICA）、泉佐野市社会福祉協議会
相談内容：法律、在留資格、福祉、生活
対応言語：日本語、英語、中国語
相談者数：9名

（b）「外国人のための多言語相談会 in 堺」

実 施 日：令和8年2月5日（木） 午後1時～午後4時
場 所：堺市南区役所2階 会議室、マイドームおおさか5階 OFIX相談室
共 催：堺市 国際課、国際交流協会ネットワークおおさか
相談内容：法律、生活
対応言語：日本語、英語、中国語
相談者数：6名

（c）「外国人のための無料相談会」

実 施 日：令和8年2月22日（日） 午前9時～正午
場 所：茨木市役所 南館1階 市民生活相談課
共 催：茨木市 市民生活相談課
相談内容：法律、行政、生活
対応言語：日本語、英語、中国語
相談者数：10名

（d）「外国人向け一日相談会」

実 施 日：令和8年3月30日（月） 午前10時～午後1時
場 所：タイ王国大阪総領事館10階 会議室
共 催：タイ王国大阪総領事館、大阪出入国在留管理局
相談内容：行政、在留資格
対応言語：日本語、タイ語
相談者数：9名

（イ）外国人住民向け地域合同一日相談会（「外国人住民向け一日相談会共同事業実施要綱」によらないもの）

府内における外国人相談窓口の設置を支援するため、様々な団体と連携し、相談会を実施し、ボランティア通訳者等を派遣した。

（a）「外国人のための無料何でも相談会」

実 施 日：令和7年11月11日（火） 午後1時～午後4時
場 所：マイドームおおさか8階 第3・6会議室
主 催：大阪出入国在留管理局
参加団体：大阪労働局、大阪外国人雇用サービスセンター、大阪法務局、
日本司法支援センター大阪地方事務所（法テラス大阪）、
日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部、大阪市保健所、
外国人技能実習機構大阪事務所、大阪府行政書会、（公財）大阪国際交流センター、
（公財）大阪観光局、留学生支援コンソーシアム大阪、（公財）大阪産業局、
（公財）国際人材協力機構（JITCO）大阪駐在事務所
相談内容：在留資格、法律、行政、生活、教育
対応言語：日本語、英語、中国語
相談者数：6名

(b) 「外国人のための一日離婚相談ホットライン」

実施日：令和8年2月28日（土） 午前10時30分～午後4時30分
場所：大阪弁護士会館9階 902・903・904 会議室
主催：大阪弁護士会
共催：リコンアラート（協議離婚問題研究会）、（公財）とよなか国際交流協会
相談内容：相続、雇用
対応言語：中国語
相談者数：2名

(ウ) 地域合同オンライン相談会

前記(ア)・(イ)のほかに、オンライン形式による合同相談会を大阪府内市町村、国際交流協会等と協力して実施した。

日付	詳細	協力自治体等	相談者数
7月11日（金）	入管相談	（公財）八尾市国際交流センター	1名
7月18日（金）	生活相談	高槻市都市交流協会	2名
11月14日（金）	入管相談	高槻市都市交流協会	1名
11月21日（金）	生活相談	高槻市都市交流協会	2名
11月28日（金）	弁護士相談	（公財）八尾市国際交流センター	1名
1月18日（日）	弁護士相談	高槻市都市交流協会	1名
3月6日（金）	労働相談	堺市	1名
3月27日（金）	行政書士相談	河内長野市国際交流協会	1名

③ 一日インフォメーションサービス事業

在住外国人と地域住民の共存・共生に資するため、「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議の共同事業として、外国人を対象とした「一日インフォメーションサービス」を開催した。大阪府外国人情報コーナーとしては、「生活関連ブース」での相談を担当するとともに、通訳協力を行った。

主催：「一日インフォメーションサービス」実行委員会

（「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議）

構成：大阪法務局、大阪出入国在留管理局、大阪労働局、日本年金機構大手前年金事務所、全国健康保険協会大阪支部、大阪府、大阪府警察本部、大阪市、大阪弁護士会、大阪府行政書士会、大阪司法書士会、（一社）大阪府医師会、（一社）大阪府歯科医師会、（一社）大阪府薬剤師会、大阪商工会議所（大阪外国企業誘致センター）、近畿税理士会、大阪府社会保険労務士会、（独）日本学生支援機構大阪日本語教育センター、

大阪市立男女共同参画センター子育て活動支援館、(特非)関西国際交流団体協議会、
(公財)大阪府国際交流財団、(公財)大阪国際交流センター

※事務局は(公財)大阪国際交流センター

対応言語：日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、
フィリピン語、タイ語、インドネシア語、ネパール語、ウクライナ語、ロシア語

<第1回>実施日：令和7年7月12日(土) 午後1時～午後5時

場 所：大阪国際交流センター2階 さくら他

相談者数：63組

相談件数：106件

<第2回>実施日：令和8年1月17日(土) 午後1時～午後5時

場 所：大阪国際交流センター2階 さくら他

相談者数：81組

相談件数：135件

④ 多言語情報提供

(ア) 大阪生活必携の更新

外国人のための生活ガイド「大阪生活必携」の情報を精査し、内容を充実させて更新した。

(イ) よくある生活質問集(FAQ)の更新

既存の「よくある生活質問集」のリンク先を含む全情報を見直し、最新情報に改訂して11言語で更新した。

⑤ 相談員・通訳者研修等

大阪府内の市町村や国際交流協会等で外国人相談に携わる相談員・通訳者を対象に、より良い相談サービスを提供するため、在住外国人に係る最新事情や各種制度等に関する知識の共有を目的とした研修や、昨今問い合わせの多い相談事例に関する事例検討会を実施した。

研修会 実施日：令和8年2月25日(水) 午後1時30分～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第1会議室

演 題：「効果的なAI通訳翻訳」

講 師：金城学院大学 文学部・金城学院大学大学院 文学研究科

教授 水野 真木子 氏

※講義に引き続き、グループディスカッションを実施

参 加 者：22名

事例検討会

<第1回>実施日：令和7年8月29日(金) 午後2時～午後4時15分

場 所：マイドームおおさか8階 第3会議室

情報提供：「労働環境課・労働相談センターにおける労働相談の傾向について」

提 供 者：大阪府商工労働部 雇用推進室 労働環境課 相談グループ

主査 今井 知子 氏 相談員 瀬川 和久 氏

テ ー マ：万博に関連する労働相談

参 加 者：8名

<第2回>(後記、⑧(イ)事例研究編<その1>と同じ)

実施日：令和7年12月15日(金) 午後1時30分～午後4時30分

場 所：大阪府立大阪わかば高等学校1階 会議室

情報提供：「大阪府立学校における多言語生の就労支援について」

提 供 者：大阪府立大阪わかば高等学校 教諭 森山 玲子 氏

テ ー マ：就労に向けた不安や課題

参 加 者：14 名

<第3回>（後記、⑧（イ）事例研究編<その2>と同じ）

実 施 日：令和8年2月2日（月） 午後3時～午後5時30分

場 所：堺市立殿馬場中学校2階 図書室

情報提供：「夜間中学校やそこで学ぶ生徒の実態について」

提 供 者：大阪市立天満中学校 教諭 米澤 尚史 氏

（近畿夜間中学校連絡協議会 事務局長）

テ ー マ：中学校卒業後の進学に向けた不安

参 加 者：15 名

⑥ 住民対応力強化事業

大阪府内の市町村や国際交流協会等の窓口対応で、外国人住民と携わることの職員等を対象に、円滑に対応するためのスキルアップ研修や電話通訳サービスのデモンストレーションを行った。

実 施 日：令和8年1月15日（木） 午前10時～正午

場 所：八尾市役所6階 大会議室

演 題：「在住外国人住民の対応とやさしい日本語」

講 師：NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会

副代表理事 高木 和彦 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：31 名

⑦ 生活オリエンテーション

大阪で生活する外国人を対象に、大阪で安心・安全に生活していただくため、多様な生活情報に関するレクチャーを行った。

<第1回>実 施 日：令和7年12月2日（火） 午前10時～正午

場 所：大阪外語学院 南校8階 会議室

演 題：「外国人のためのおおさか安心生活ガイドンス～法律編～」

講 師：中本総合法律事務所 弁護士 小林 由巳子 氏 （大阪弁護士会所属）

参 加 者：45 名

<第2回>実 施 日：令和8年3月11日（水） 午前11時30分～午後12時30分

場 所：大阪府立大阪わかば高等学校2階 視聴覚室

演 題：「新入生のための生活説明会」

講 師：大阪出入国在留管理局 統括審査官 三長 静子 氏

参 加 者：36 組（高校入学生とその保護者）

<第3回>実 施 日：令和8年3月30日（月） 午前9時30分～午前10時

場 所：タイ王国大阪総領事館10階 会議室

演 題：「在留カードのオンライン申請方法」

講 師：大阪出入国在留管理局 統括審査官 三長 静子 氏

参 加 者：19 名（対面8名、オンライン11名）

共 催：タイ王国大阪総領事館、大阪出入国在留管理局

⑧ 多文化共生×多分野で目指す誰も取り残さないまちづくり

＊（一財）自治体国際化協会補助

それぞれの状況によって必要な制度・サポートが異なる外国人府民の課題解決のために、多分野の専門機関や専門職と連携するため、相互理解と日頃からの繋がり構築をめざした。

（ア）在住外国人を対象とした福祉支援活動の現状調査

大阪府内の社会福祉協議会や包括支援センター等に、「取り組んでいる外国人支援や多文化共生活動の内容」「成功事例や課題事例とその背景」「他団体や行政との連携の実態」「活動を継続するために必要なサポート」等いった内容でヒアリングを行った。

（イ）多文化共生×地域福祉に係る講座（４回実施）

基礎知識編

<A講座>実施日：令和7年10月14日（火） 午後2時20分～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第2会議室

演 題：「地域における国際交流協会の役割」

講 師：（公財）大阪国際交流センター 常務理事兼事務局長 梅元 理恵 氏

※講義に引き続き、グループディスカッションを実施

参 加 者：14名

<B講座>実施日：令和7年10月14日（火） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第1会議室

演 題：「社会福祉協議会の役割と福祉分野の外国人との関わり」

講 師：Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏

（元（社福）全国社会福祉協議会 副部長）

※講義に引き続き、グループディスカッションを実施

参 加 者：16名

事例研究編

<その1>実施日：令和7年12月15日（金） 午前11時40分～午後4時30分

場 所：大阪府立大阪わかば高等学校1階 会議室ほか

授業見学：案内 大阪府立大阪わかば高等学校 教諭 森山 玲子 氏

教科 「論理国語」「日本語」など

情報提供：「大阪府立学校における多言語生の就労支援について」

提 供 者：大阪府立大阪わかば高等学校 教諭 森山 玲子 氏

テ ー マ：就労に向けた不安や課題

参 加 者：14名

<その2>実施日：令和8年2月2日（月） 午後3時～午後7時

場 所：堺市立殿馬場中学校2階 図書室ほか

情報提供：「夜間中学校やそこで学ぶ生徒の実態について」

提 供 者：大阪市立天満中学校 教諭 米澤 尚史 氏

（近畿夜間中学校連絡協議会 事務局長）

テ ー マ：中学校卒業後の進学に向けた不安

授業見学：案内 堺市立殿馬場中学校 副校長 太田 祥晃 氏

教科 「日本語」「社会」「数学」など

参 加 者：15名

（ウ）地域との連携の事例を学ぶフィールドトリップ（2回実施）

<第1回>多様な宗教施設を学ぶフィールドトリップ

実施日：令和7年12月12日（金） 午前10時15分～午後3時15分

場所：①高麗寺（京都府相楽郡南山城村）

②イスラミックリサーチセンタージャパン [通称 八幡モスク]
（京都府八幡市）

内容：①施設見学・説明 代表者 崔 炳潤 氏
土葬墓の見学

②施設見学・説明 運営者 ラムザン ミルザ 氏
日本語学校見学

参加者：9名

<第2回>地域で活動する外国人を巡るフィールドトリップ

実施日：令和8年2月13日（金） 午前10時～午後4時

場所：①たかとりコミュニティセンター（兵庫県神戸市長田区）

②株式会社パソナグループ（兵庫県淡路市）

内容：①団体説明 事務局 村上 桂太郎 氏
施設見学 案内 同上

②団体説明 採用部長 御手洗 友香 氏
施設見学 案内 ディーツ ヤニック 氏

参加者：2名

（エ）多文化共生×地域福祉をテーマとした共同事業（2回実施）

児童養護施設での交流活動

実施日：令和8年3月7日（土） 午前10時～正午

場所：府内の児童養護施設

参加者：在住外国人 5名

施設で暮らす児童 17名

内容：ベトナム、ペルー、スリランカ、台湾、ブルガリアの、各国の遊びで交流

多団体と連携した外国人相談事業

実施日：令和8年3月30日（月） 午前10時～午後1時

場所：タイ王国大阪総領事館 10階 会議室

共催：タイ王国大阪総領事館、大阪出入国在留管理局

相談内容：行政、在留資格

対応言語：日本語、タイ語

相談者数：9名

（2）OFIXボランティア登録制度の運営

① OFIXボランティア登録・派遣制度の運営

OFIXボランティア登録・派遣制度を運営し、OFIX事業のほか、公共団体等からの依頼に応じて語学ボランティアを派遣した。

登録ボランティア数：303名 [令和8年3月末現在]

活動件数：62件

派遣人数：103名

② 外国人相談等にかかる通訳・翻訳ボランティアの活動促進

O F I Xの登録ボランティアを対象に、ボランティア制度や活動先、コミュニティ通訳についてなど、外部より講師を招き研修を実施した。

<第1回>実施日：令和7年8月25日（月） 午後1時30分～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第3会議室

演 題：「コミュニティ通訳・翻訳者に必要なこと」

講 師：多言語センターFACIL 理事長 李 裕美 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：22名

<第2回>（再掲）

実施日：令和8年2月25日（水） 午後1時30分～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第1会議室

演 題：「効果的なA I通訳翻訳」

講 師：金城学院大学 文学部・金城学院大学大学院 文学研究科

教授 水野 真木子 氏

※講義に引き続き、グループディスカッションを実施

参 加 者：22名

③ O F I X災害時通訳・翻訳ボランティア制度の運営

近畿地域国際化協会連絡協議会が実施する「災害時外国人支援ネットワーク」の取組みに基づき、O F I X災害時通訳・翻訳ボランティア登録制度を運営した。

（ア）登録者数

登録ボランティア数：197名（内、新規登録者 197名）〔令和8年3月末現在〕

（イ）災害時通訳・翻訳ボランティアを対象にした研修

大阪府内の在住外国人が、災害時にも安全・安心に過ごせるような多言語支援を意識して、災害時通訳・翻訳ボランティアを対象に、体験活動を含む研修を実施した。

実施日：令和8年3月17日（火） 午後1時30分～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第6会議室

演 題：「災害時翻訳ボランティア研修」

講 師：多文化ソーシャルワーカー コミュニティ通訳 神田 すみれ 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：33名

④ ウクライナ避難民通訳支援人材バンク制度の運営

ウクライナからの避難民が安心して滞在できるよう、ウクライナ語またはロシア語の通訳ボランティア登録制度を運営した。

（ア）登録者数

人材バンク登録者数：221名〔令和8年3月末現在〕

（3）多言語情報提供の支援

行政機関や公的団体等による多言語による情報提供を支援するため、通訳・翻訳サービスを提供した。

派遣回数：29 件

(4) やさしい日本語の普及

① やさしい日本語研修

「やさしい日本語」を災害時だけでなく平時にも応用することで、より多くの外国人の方にとって分かりやすい情報提供を行うことをめざし、大阪府内の市町村や国際交流協会、民間企業などの職員、O F I Xボランティア等を対象とした研修を実施した。

<第1回>実施日：令和7年6月25日（水） 午後2時～午後4時30分

場 所：労働センター(エル・おおさか) 本館7階 709 会議室

内 容：「令和7年度 やさしい日本語研修会」

講 師：聖心女子大学 現代教養学部 教授 岩田 一成 氏

参 加 者：47 名

<第2回>実施日：令和7年7月23日（水） 午後2時～午後4時30分

場 所：大阪産業創造館6階 会議室A

内 容：2025 年度 企業向け「やさしい日本語研修会」

講 師：神戸YWCA学院 日本語教師養成コース

コーディネーター 福井 武司 氏

参 加 者：18 名

<第3回>実施日：令和7年9月22日（月） 午後1時30分～午後3時10分

場 所：大阪府内企業

内 容：「やさしい日本語研修会」

講 師：神戸YWCA学院 日本語教師養成コース

コーディネーター 福井 武司 氏

参 加 者：24 名

<第4回>実施日：令和7年10月22日（水） 午後3時～午後5時

令和7年10月29日（水） 午後3時～午後5時

令和7年11月26日（水） 午後3時～午後5時

令和8年 1月21日（水） 午後3時～午後5時

令和8年 2月18日（水） 午後3時～午後5時

場 所：日本総合住生活株式会社

大阪支店・大阪北支店・大阪中支店・大阪南支店

内 容：外国人のお客様に対する対応研修

「やさしい日本語を使った、伝わりやすいコミュニケーション」

講 師：(公財) 大阪YWCA 日本語教師会 坂本 由美子 氏

参 加 者：175 名

補 足：この講義は、5回シリーズで、異なる人を対象に同一内容で実施した。

(5) 災害時外国人支援体制の確立

① 災害時外国人支援体制の確立

(ア) 市町村国際交流協会との連携等

(a) 市町村災害事業支援

防災力の鍵となる地域連携及び地域に根ざした災害時外国人支援を推進し、さらなる地域力・防災力の向上をめざして、市町村との共催事業を実施した。

<研修会>実施日：令和8年2月21日（土） 午前10時～正午

場 所：大阪国際交流センター3階 会議室 銀杏

テ ー マ：「災害時外国人支援ボランティア研修
～協力型防災ゲーム「LIFE」の体験ワークショップ～」

主 催：（公財）大阪国際交流センター

共 催：近畿地域国際化協会連絡協議会

参 加 者：18名

<防災教室>実施日：令和8年3月8日（日） 午後1時～午後3時

場 所：守口市役所1階 会議室105号室・守口消防署

テ ー マ：「外国人のための防災教室」

共 催：守口市

参 加 者：12名

（b）大阪府域における災害時の外国人支援体制づくり

大阪府内の市町村や国際交流協会間の連携やネットワークの強化を目的に、災害における具体的対応をイメージするため、研修を行った。

実施日：令和8年3月3日（火） 午前10時30分～正午

場 所：オンライン

テ ー マ：「おおさか災害支援ネットワーク（OSN）の取組みについて」

講 師：（社福）大阪ボランティア協会 青山 織衣 氏

参加団体：14団体

（イ）大阪府災害時多言語支援センター設置・運営訓練

<訓練>実施日：令和8年1月16日（金） 午前11時～正午

場 所：マイドームおおさか5階 OFIX事務所ほか

内 容：大阪府が実施する、南海トラフ巨大地震を想定した令和7年度大阪府地震・津波災害対策訓練に合わせ、主に多言語情報発信中心とした大阪府災害時多言語支援センター設置・運営訓練を実施した。

（6）大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営・活用

① 大阪府堺留学生会館オリオン寮の運営及び活用事業

- ・海外から大への留学の促進を図るため、大阪府堺留学生会館オリオン寮（85室）を運営した。
（平均入居率… 84.2%）※ウクライナ留学生支援枠を除いた場合…88.1%
- ・居室内の照明器具をLED化するとともに、一部ベッド及びエアコン並びに冷蔵庫の更新を行い、入居者の満足度向上に努めた。また、居室用温水器の一部及び自動ドアエンジンの設備更新を行った。
- ・入居留学生と地域住民の交流を目的とした地域交流会を実施した。

<地域交流会>

実施日：令和7年12月20日（土）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

参 加 者：オリオン寮生 25名

(7) 外国人相談対応力強化事業

公共交通機関の窓口や宿泊施設など、外国人と接触する機会の多い機関での相談対応力を向上するため、外国人相談対応に必要な知識・能力を習得する研修を実施するとともに、相談内容のデータベースを構築した。また、外国人観光客が大阪滞在中に地震や台風等の被害に遭った場合を想定し、速やかに正確な情報を届けるための初動スキルの向上もめざした。

※大阪府委託事業

① 事業検討委員会・ワーキングの開催

インバウンド対応の現状や課題の分析、研修の方向性の提案等を行うための事業検討委員会や研修テキスト等の作成のためのワーキングを実施した。

(ア) 事業検討委員会

- <第1回>実施日：令和7年6月23日（月） 午後2時～午後4時
場 所：マイドームおおさか8階 第5会議室
内 容：研修のテーマについて
- <第2回>実施日：令和7年9月19日（金） 午後2時～午後4時
場 所：マイドームおおさか8階 第6会議室、オンライン併用
内 容：研修講師の選考や効果測定の方法について
- <第3回>実施日：令和8年3月23日（月） 午前10時30分～午前11時
方 法：オンライン
内 容：研修実施報告とテキスト作成状況報告、今年度の振り返り

(イ) ワーキング

- <第1回>実施日：令和7年7月25日（金） 午後1時30分～午後3時30分
場 所：マイドームおおさか8階 第4会議室
内 容：研修テーマに応じた具体的なプログラムやテキストの内容について
- <第2回>実施日：令和7年8月21日（木） 午前10時～午前11時50分
方 法：オンライン
内 容：テキストの具体的な内容と分担について
- <第3回>実施日：令和8年1月20日（火） 午後2時～午後3時
方 法：オンライン
内 容：追加研修の動画作成やワークショップの内容について

② ヒアリング

府内の宿泊業者や公共交通機関、観光施設、まち育てネットワーク、防災スクラム等、10 か所へのヒアリングと1か所の視察を行った。

③ 研修会の開催

基礎研修・応用研修ともに、対面で実施したもの

- <第1回>実施日：令和7年12月1日（月） 午後1時30分～午後5時30分
場 所：マイドームおおさか8階 第6会議室
テ ー マ：コミュニケーション

講 義：『なぜわからないのか』ではなく、どう説明すれば伝わるか」

講 師：駒沢女子大学 共生文化学部 准教授 飯田 敏晴 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：21 名

<第2回>実 施 日：令和7年12月4日（木） 午後1時30分～午後5時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第6会議室

テ ー マ：異文化理解

講義・ワークショップ：日本人のコミュニケーションの特徴、

国・地域別異文化理解

現場でのお困りごと

講 師：株式会社 フォーシーズインターナショナル

代表取締役社長 神服佐知子 氏

参 加 者：17 名

<第3回>実 施 日：令和7年12月8日（月） 午後1時30分～午後5時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第3会議室

テ ー マ：医療

講 義：①「医療機関における外国人患者対応 災害時の話も少し」

講 師：NPO法人災害人道医療支援会（HuMA）

救命救急医 齋藤 研 氏

日本国際看護師 中野 智香子 氏

ワークショップ：「～こんな時どうする～『外国人医療』対応を考える」

ファシリテーター：医療通訳研究会（MEDINT） 代表 村松 紀子 氏

参 加 者：16 名

<第4回>実 施 日：令和7年12月11日（木） 午後1時30分～午後5時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第2会議室

テ ー マ：非常時の対応

講 義：①「大阪におけるインバウンドについて 現状の動向と課題」

②「災害時対応と外国人」

講 師：①（公財）大阪観光局 観光事業部長 塩見 正成 氏

②NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会

代表理事 土井 佳彦 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：17 名

基礎研修はオンラインで、応用研修は対面で実施したもの

実 施 日：基礎研修 令和8年2月12日（木）～3月2日（月）

応用研修 令和8年3月2日（月） 午前10時～午後5時15分

場 所：基礎研修 オンラインでの動画視聴

応用研修 大阪産業創造館6階 会議室E

内 容：基礎研修 ①テーマ：多文化理解

講 師：株式会社 フォーシーズインターナショナル

代表取締役社長 神服佐知子 氏

②テーマ：アンコンシャス・バイアス

講 師：（一財）熊本市国際交流事業団

常務理事 八木 浩光 氏

- ③テーマ：コミュニケーション
講 師：駒沢女子大学 共生文化学部
准教授 飯田 敏晴 氏
 - ④テーマ：医療従事者に聞く外国人患者対応
講 師：NPO法人災害人道医療支援会（HuMA）
救命救急医 齋藤 研 氏
日本国際看護師 中野 智香子 氏
 - ⑤テーマ：ツールとしての「やさしい日本語」
講 師：医療通訳研究会（MEDINT）
代表 村松 紀子 氏
 - ⑥テーマ：災害時対応と外国人
講 師：NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会
代表理事 土井 佳彦 氏
 - ⑦テーマ：大阪におけるインバウンドについて
講 師：（公財）大阪観光局 観光事業部長 塩見 正成 氏
- 応用研修
- ①テーマ：多文化理解
講 師：ならSGGクラブ 会長 大西 比佐代 氏
 - ②テーマ：コミュニケーション
講 師：駒沢女子大学 共生文化学部
准教授 飯田 敏晴 氏
 - ③テーマ：事例検討
講 師：医療通訳研究会（MEDINT）
代表 村松 紀子 氏
 - ④テーマ：災害時対応と外国人
講 師：NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会
代表理事 土井 佳彦 氏

参 加 者：22 名

④データベースの構築

インバウンド対応をする団体対応者等が、これまで関係機関が対応した記録を蓄積し、参照して活用とするためのデータベースを構築した。

2. 国際交流情報の収集及び発信

（1）OFIXホームページ・SNSの運営

① OFIXホームページ

災害多言語情報ウェブサイトとの連動を図りつつ、ホームページのリニューアルを行い、財団事業や他団体との共催事業・連携情報をホームページで発信した。

年間新着情報発信件数：55 件

年間アクセス件数：セッション数 49,435 件、ページビュー数 93,688 件

② フェイスブック

財団事業や他団体との共催事業・連携に関する最新の情報を多言語で配信した。

年間発信件数：175 件

年間アクセス件数：ページビュー数 5,412 件

フォロワー数：1,526 人

③ X (旧 Twitter)

財団事業や他団体との共催事業・連携に関する最新の情報を多言語で配信した。

年間発信件数：252 件

年間アクセス件数：ページビュー数 39,854 件

フォロワー数：129 件

④ YouTube

財団事業や為替取引詐欺の注意喚起動画などの外国人支援に関する情報を多言語で配信した。

年間発信件数：8 件

年間アクセス件数：視聴回数 2,585 件

フォロワー数：83 件

⑤ Note

財団事業や異文化理解に関する情報を多言語で配信した。

年間発信件数：12 件

年間アクセス件数：閲覧回数 2,702 件

累計スキ数 199 件

(2) OFIXニュースの発行

① OFIXニュース

(ア) OFIXニュース

OFIXニュース(日本語、英語)を印刷版と配信版(メールマガジン)で定期的に発行した。

PRイベント時や賛助会員勧誘時のツールとして積極的に活用した。

発行回数：4回(112・113・114・115号)

発行部数：印刷版 75部

(イ) メルマガ

年間配信回数：25回 年間配信者数合計 29,535人

② その他の広報ツール

企業や大学等に当財団の事業を広くPRするため、OFIXパンフレットやリーフレットを広く配布するとともに報道機関への働きかけも行った。

また、財団事務所内において、多文化共生等の資料を配架する「OFIXプラザ」を運営するなど、情報提供を行った。

(3) 民間国際交流団体等の活動促進

① 近畿地域国際化協会連絡協議会との連携促進

近畿地域国際化協会連絡協議会に参画し、近畿二府四県・四政令市の地域国際化協会等との連携を図った。

また、災害時に相互にコーディネーター及び通訳の派遣や翻訳支援を行うため、同協議会において「災害時における外国人支援ネットワークに関する協定書」を締結しており、広域での通訳・翻訳コーディネーションに係る研修等に取り組んだ。

事業名：近畿地域国際化協会連絡協議会主催研修会

～広域における災害時外国人相談会実施体制について考える～

<研修会>実施日：令和7年9月4日（木） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第3会議室

講 義：「広域連携における災害時外国人相談実施体制について考える」

講 師：（公財）福井県国際交流協会 主査 飯田 隼人 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：14名

<相談会>実施日：令和7年10月17日（金） 午後1時30分～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか5階 OFIX相談室

相談内容：法律、在留資格、雇用・労働

対応言語：日本語、中国語、ベトナム語、フィリピン語

相談者数：10名

相談件数：10件

② 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV・NET）への参画

関西における国際交流ボランティア活動の発展・振興に寄与することを目的に設立（平成8年3月）されたKIV・NETに参画。

会 員 数：46団体（令和7年度事務局：（公財）大阪国際交流センター）

実施日：令和7年12月2日（火） 午前10時30分～午前11時30分

方 法：オンライン

内 容：令和6年度の活動報告

令和7年度の活動状況（「EXP02025 大阪・関西万博」での活動など）

参 加 者：13団体

③ 市町村国際交流協会等との連携促進

（ア）国際交流協会ネットワークおおさかへの参画

市町村国際交流協会を中心とした幅広い関係者を含めて、多文化共生や在住外国人支援に関連した取り組みを実施した。

構成団体：（公財）大阪国際交流センター、（公財）とよなか国際交流協会、

（特活）とんだばやし国際交流協会、（公財）吹田市国際交流協会、

（公財）箕面市国際交流協会、池田市、

オブザーバー：大阪府、堺市、東大阪市、（特活）多文化共生マネージャー全国協議会

（a）研修会の実施

実施日：令和7年6月17日（火） 午後1時30分～午後4時30分

場 所：大阪国際交流センター3階 会議室3・4

内 容：「国際交流協会の職員として大切なこと
～ダイヤモンドランキング形式で考える～」

参 加 者：24 名

(b) シンポジウムの実施

実 施 日：令和8年1月23日（金） 午後1時30分～午後4時30分

場 所：大阪国際交流センター3階 会議室 銀杏

内 容：講演・大阪府内の状況報告・グループディスカッション

講 演：「日本の外国人受入れ政策の歴史と未来」

講 師：国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長 是川 タ 氏

参 加 者：37 名

3. グローバル人材の育成・活用

(1) 国際理解教育の展開

① OFIX国際理解教育外国人サポーターの育成・派遣

大阪府内で学ぶ児童・生徒の、外国への関心と様々な国についての理解の促進を目的として、OFIX国際理解教育外国人サポーターとして登録している外国人留学生などを、府内の小・中・高等・支援学校等で行う国際理解教育授業の講師として派遣した。

また、登録サポーターが参加・活躍・交流できる機会として、留学生のための勉強会を実施し、滞在期間の短い在住外国人が、日本で安全・安心に生活し新たな環境に順応できるよう支援した。

(ア) 外国人サポーターの派遣実績

(a) OFIX国際理解教育

参 加 校：262 校（内新規派遣校5校）

対象児童・生徒数：5,243 名

サポーター派遣人数：144 名

サポーター登録者数：128 名 〔令和8年3月末現在〕

(b) ふれあい交流祭り

実 施 日：令和7年11月23日（日） 午後1時～午後4時

場 所：国際交流基金関西国際センター

参 加 者：60 名

(c) MEET IN OSAKA 内定者フォローアップ研修

実 施 日：令和8年1月14日（水） 午後4時～午後5時

令和8年2月4日（水） 午後4時～午後5時

令和8年2月25日（水） 午後4時～午後5時

方 法：オンライン

参 加 者：28 名

(イ) 外国人サポーター向け研修会

(a) 外国人のためのメンタルヘルスワークショップ

<第1回>実 施 日：令和7年7月31日（木） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第5会議室
講 義：「異文化での暮らし方」
講 師：立命館大学 学生サポートルーム
カウンセラー（臨床心理士） 梶山 彩子 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：13 名

<第2回>実 施 日：令和7年9月18日（木） 午後2時～午後4時30分

場 所：マイドームおおさか8階 第5会議室
講 義：「Finding Babance:Mental Health Tips for Life in Japan
日本で暮らすためのメンタルヘルスのヒント」
講 師：立命館大学 学生サポートルーム
カウンセラー（臨床心理士） 吉川 民子 氏

※講義に引き続き、ワークショップを実施

参 加 者：15 名

令和7年事業年度においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。

令和8年6月

公益財団法人 大阪府国際交流財団